

ActiveImageTM 2022

PROTECTOR

ActiveImage Protector 2022

Express5800/ftサーバ

NEC ftサーバ Windowsモデル専用の
システム・データ保護ソリューション

2024年 2月 14日
株式会社 アクティブアイ

1. ActiveImage Protector 2022 Express5800/ftサーバとは
2. 2024年1月26日リリースでアップデートされた新機能
3. ftサーバにおけるバックアップの必要性
4. ActiveImage Protector 2022 Express5800/ftサーバ の特長
 - バックアップ/復元
 - 幅広いバックアップ保存先
 - ファイル/フォルダー単位のバックアップ
5. 基本機能
 - バックアップ/復元
 - 柔軟なスケジュールバックアップ
6. 対応モデル/価格
7. まとめ

NEC ftサーバ Windowsモデル専用のシステム保護ソリューションです。

○NEC ftサーバ環境のOS / アプリケーション / データを丸ごとバックアップしシステム全体を保護

○緊急時には、バックアップから簡単な操作で迅速にシステム全体を復元し復旧が可能

○システム全体のバックアップからファイル/フォルダー単位の復元も可能

ActiveImage Protector 2022 Express5800/ftサーバの新機能

※「*印」は、2024年1月26日リリースでアップデートされた新機能です。

Actiphy StorageServer オプションの追加 (専用のバックアップストレージの構築) *

新しいトラッキングドライバーの追加 (増分バックアップのためのディスク変更ブロックの追跡) *

バックアップ保存先としてS3互換のオブジェクトストレージに対応

バックアップ保存先としてセキュアな通信が可能なSFTPに対応

ファイル/フォルダー単位のバックアップに対応

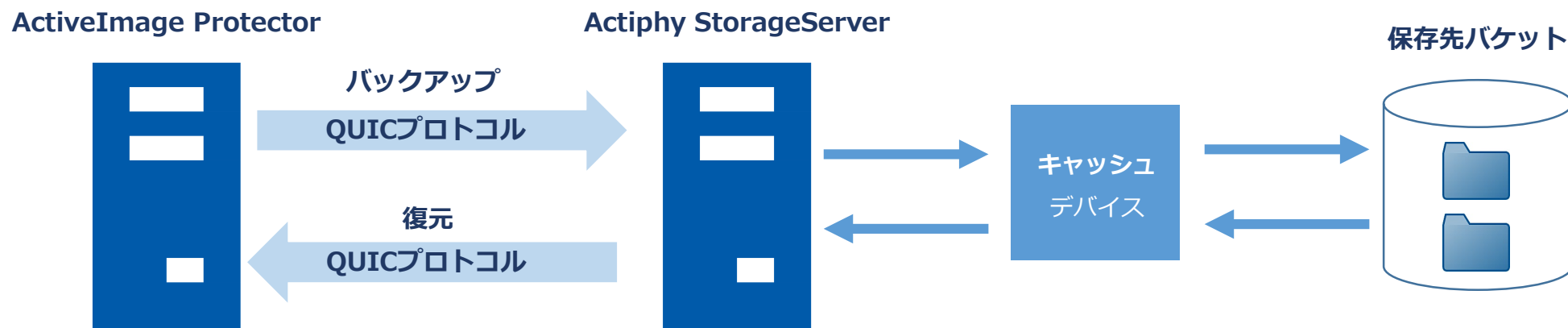
Windows ADK不要の起動媒体作成



ActiveImage Protector専用のセキュアなバックアップストレージを構築

- 保存先とするサーバーに、エージェントをインストールするだけでセキュアなバックアップストレージを構築
- 独立した保存先として、ランサムウェアなどのウィルスからバックアップファイルを安全に保護
- 新しい通信プロトコルQUICを使用して、安全で効率的なバックアップデータの転送を実現
- 保存先より高速なデバイスをキャッシュデバイスとして追加することで、安定した処理速度でバックアップが可能
- WindowsとDocker版を用意しており、様々な環境での運用が可能

ActiveImage Protector専用のセキュアなバックアップストレージを構築



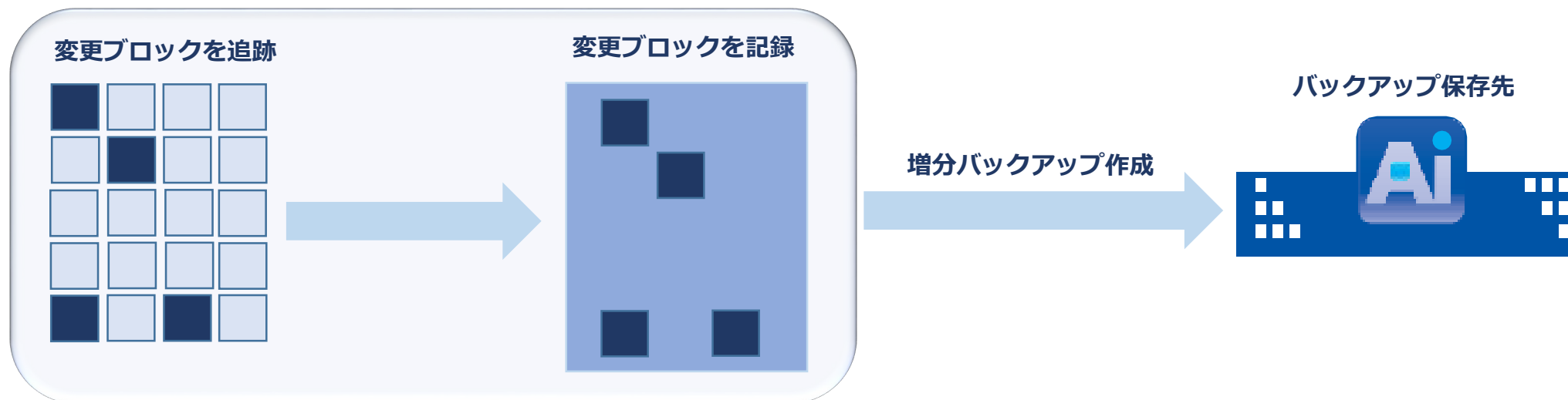
※QUICプロトコル：TCPの長所である正確さと、UDPの長所である速さを兼ね備えた通信プロトコルです。

記録された変更ブロック情報から増分バックアップを作成

- ディスクI/Oを監視して、変更ブロックを追跡/記録する増分バックアップのためのドライバー
- 記録された変更ブロック情報から増分バックアップを作成、増分バックアップの処理時間を短縮
- 増分バックアップファイルの増加による、バックアップ処理速度の低下を抑えることが可能
- インストール時、更新時に再起動が不要、ActiveImage Protectorの導入時のエンジニアの負担を軽減
- 従来のドライバーを使用しない方式(CBC)も選択して使用可能

記録された変更情報から増分バックアップを作成

バックアップ元

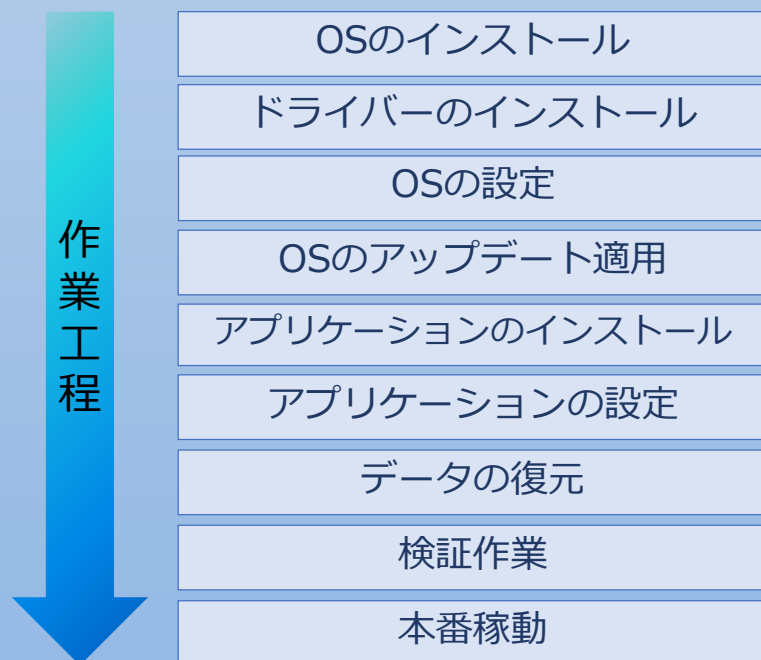


ftサーバのシステムダウンやデータ消失要因に対するカバレッジ

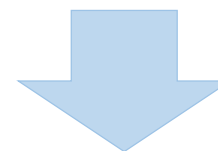
リスク要因	障害要素	カバレッジ	考察
ハードウェア障害	•サーバ機器の故障 •ネットワーク機器の故障	◎	ノンストップで待機系のノードに切替えてサービス継続が可能です。
ソフトウェア障害	•OS障害 •アプリケーション障害	×	システムは同期されているため、OS/アプリケーションの不備等のソフトウェア障害には対応できない。
人的ミス	•誤操作によるデータの削除/誤ったデータの上書 •OSやアプリケーションの設定ミスによるデータ消失	×	データは同期されているため、人為的なミスによるデータ消失には対応できない。
ウイルス感染	•システム情報ファイルの破損 •データの消失、改変など	×	ウイルス感染によるデータ消失やシステム障害には対応できない。
災害	•地震、水害などの自然災害、火災、テロなどによるシステム全体の破損	×	災害によるサーバ全体の破損には対応できない。

システム障害の際に、OSやアプリケーションの再インストールが必要になる場合があります。

一般的なシステムの復旧作業工程



システムは、再インストールすればいいので、
バックアップは不要でしょうか？



復旧には、数日かかる場合があります！



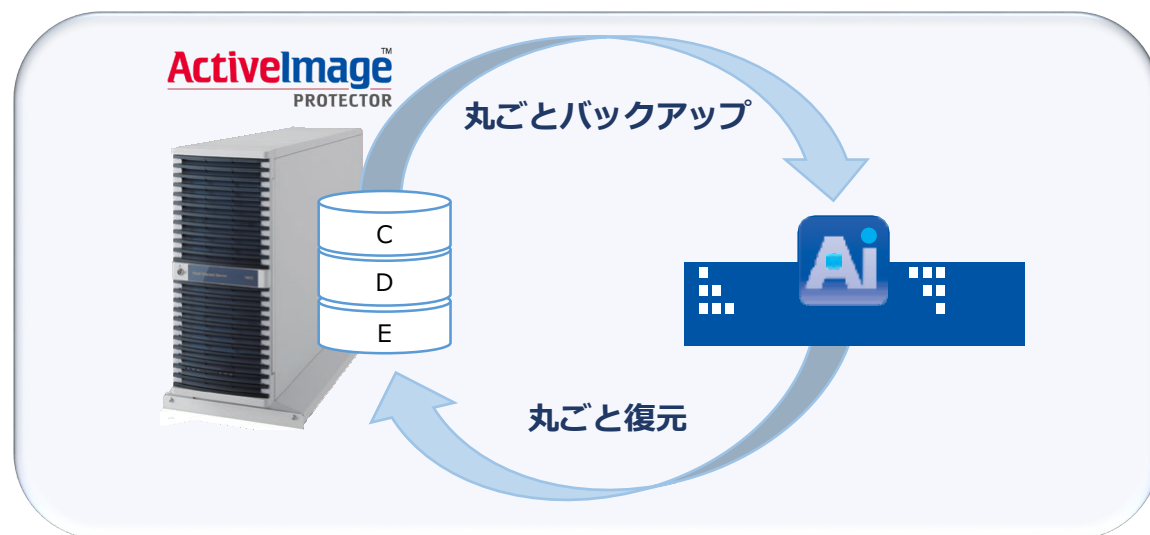
データ部分だけでなく、システムの保護も必要です。

稼働中のNEC ftサーバのシステム領域やデータ領域のバックアップが可能です。

システム全体を保護

稼働中のNEC ftサーバのシステム領域やデータ領域を、ディスクイメージで丸ごとバックアップすることができます。急なシステム障害時には、バックアップから復元するだけで復旧することができます。

システム全体を丸ごとバックアップ/復元

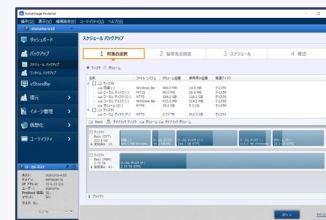


簡単なバックアップと復元操作

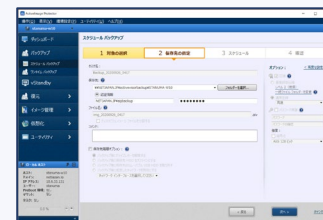
バックアップ設定や復元操作は、直感的で分かりやすい管理コンソールから誰でも簡単に行うことができます。管理者経験の浅い方でも、簡単にバックアップ運用を開始することが可能です。

ウィザード形式の簡単なバックアップ設定

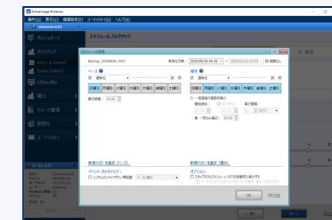
バックアップ対象の
ディスクを選択



バックアップ
保存先の指定

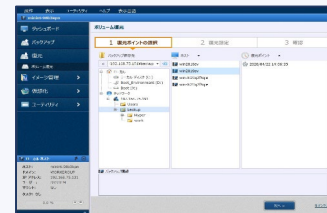


バックアップ
スケジュール設定

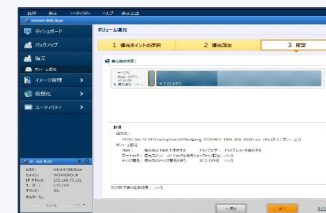


ウィザード形式の簡単な復元操作

復元したい時点の
バックアップを選択



復元先の
ディスクを指定



サーバーを起動
して業務再開

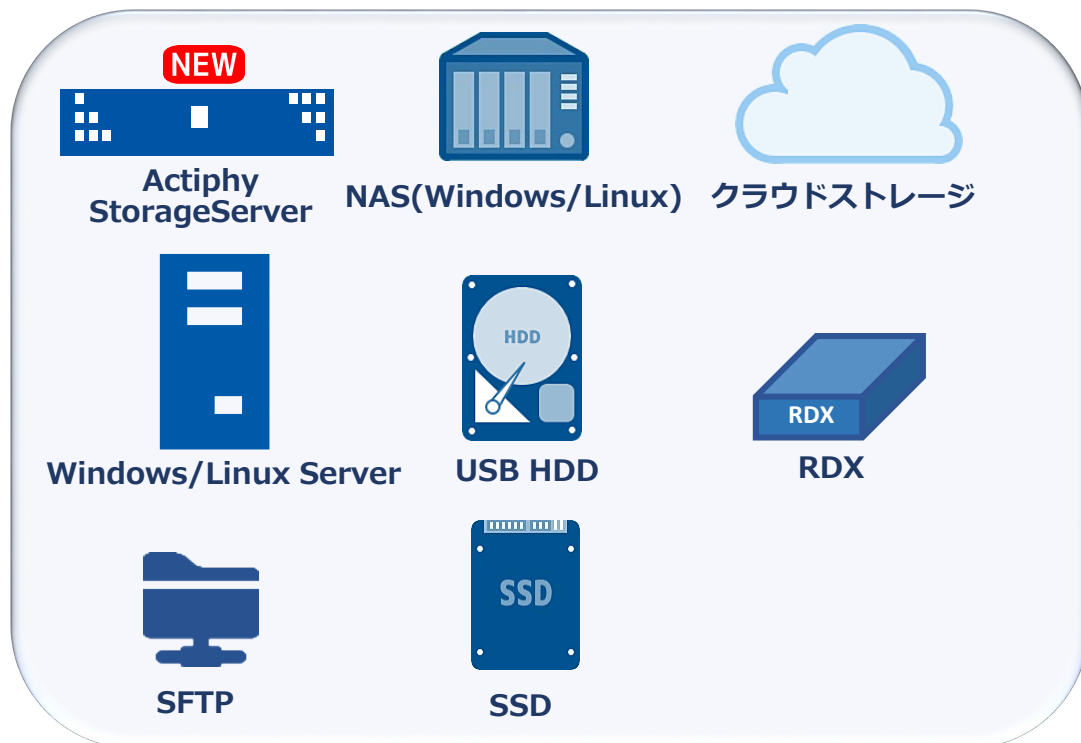
復元するだけでサーバーを元の状態に戻します。ネットワークなどの個別設定は不要です！

システム構成や目的に合わせてバックアップ保存先を自由に選択することができます。

幅広いバックアップ保存先

ActiveImage Protectorのバックアップ保存先は、**USB HDDからクラウド**のオブジェクトストレージに至るまで、幅広い保存先からシステム構成や目的に合わせて自由に選択して利用することが可能です。

幅広いバックアップ保存先



バックアップ保存先の追加

ActiveImage Protector 2022から、バックアップ保存先として**S3互換のオブジェクトストレージ**や**セキュアな送信が可能なSFTP**に対応しました。バックアップ保存先の選択の自由度がさらに高まりました。

クラウドストレージにダイレクトにバックアップ



セキュアな送信が可能なSFTPサーバーにバックアップ



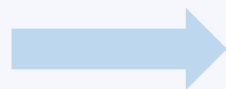
ファイル/フォルダー単位のバックアップも行うこともできます。

ブロック単位のファイルバックアップ

特定のファイル/フォルダーを指定して、スケジュールでバックアップを行うことができます。**日々の増分バックアップは、ファイル内の変更ブロックのみをバックアップしますので、バックアップの容量を削減することが可能です。**

増分バックアップは、ファイルの変更ブロックのみをバックアップ

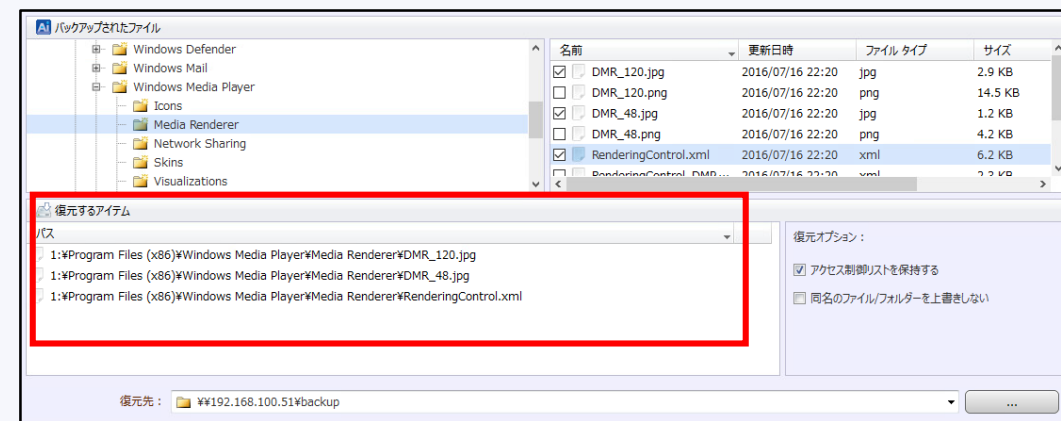
変更ブロックを抽出して
バックアップ



簡単にファイル/フォルダー単位で復元

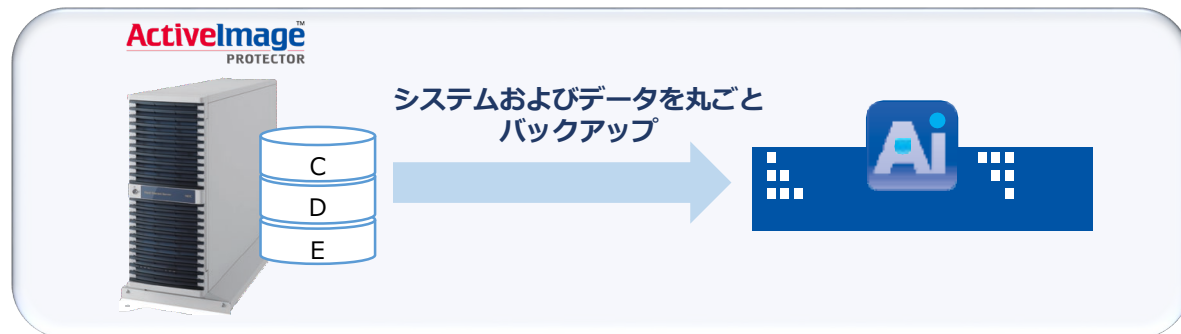
バックアップから復元したいファイルやフォルダーを選択して、簡単に復元を行うことができます。また、ファイルのアクセス権等のパーミッション情報やストリーム情報も復元します。**特定時点のファイルやフォルダーだけ復元したい場合など柔軟な対応が可能です。**

復元したいフォルダー/ファイルを選択して復元



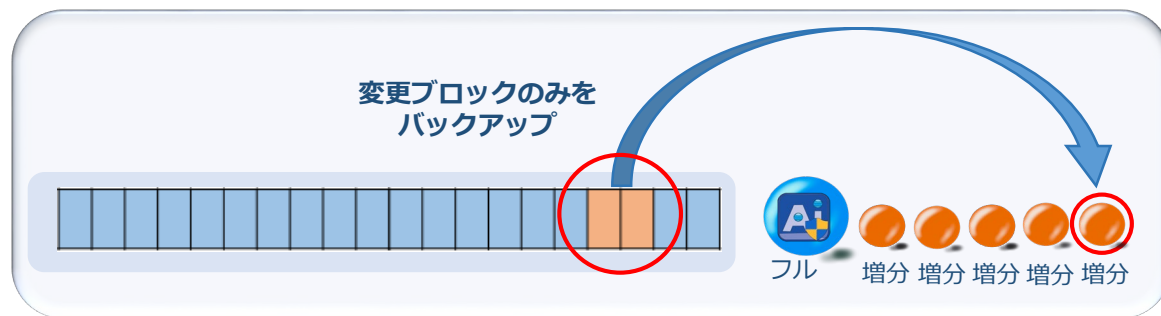
システムやデータを丸ごとバックアップ

OSやアプリケーション、データを丸ごとディスクイメージでバックアップを行うことができます。



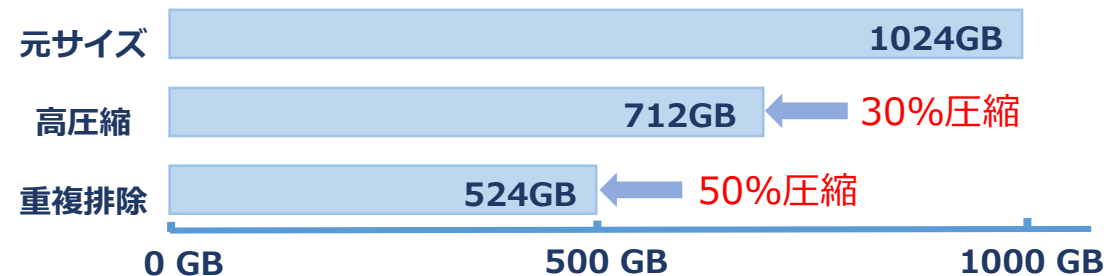
変更ブロックのみをバックアップ

日々のバックアップは、前回のバックアップ以降の**変更されたブロックのみを増分ファイルとしてバックアップ**するため、保存先の容量や処理時間を大幅に縮小できます。



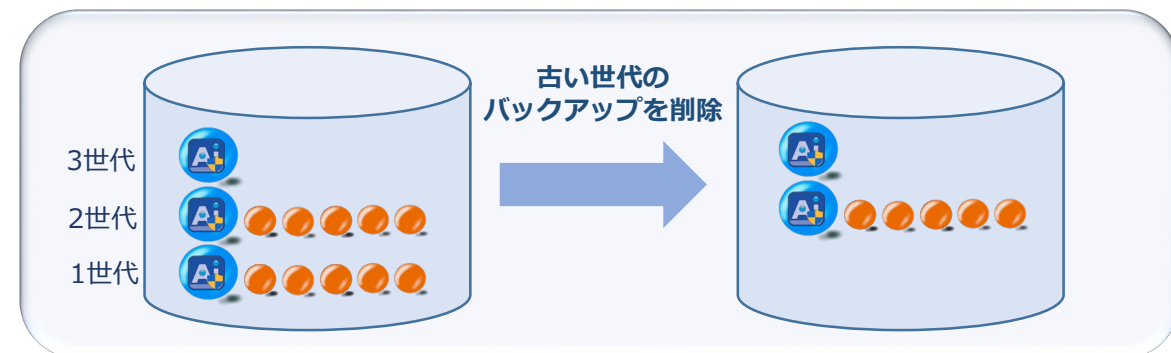
バックアップ保存先の容量を抑えた重複排除圧縮

バックアップ時にインラインで重複を排除し、同時にバックアップファイルを圧縮します。バックアップ先の容量やネットワークの負荷を軽減することが可能です。



世代管理によるバックアップ先容量を削減

保持するバックアップの世代数を指定することにより、**バックアップ保存先の古い世代のバックアップを自動的に削除**することができます。バックアップの保存期間のポリシーなどを考慮して設定することが可能です。



ディスク全体を丸ごと復元

特定時点のバックアップ（復元ポイント）から復元先ディスクを指定して丸ごと復元して、バックアップ時の状態に復旧することができます。



ボリューム単位の復元

特定時点のバックアップ（復元ポイント）から特定のボリュームを指定して復元ができます。例えば、データボリュームのDドライブのみの復元など柔軟に対応することが可能です。



ファイル/フォルダー単位の復元も可能

○ファイル復元機能

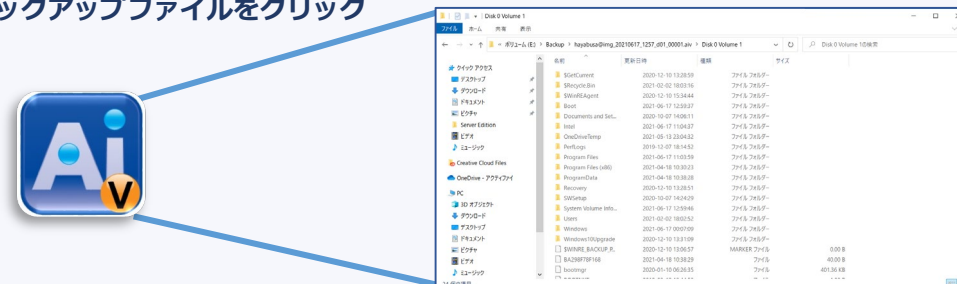
バックアップから復元したいファイルやフォルダーを選択して復元を行うことができます。また、ファイルのアクセス権等のパーミッション情報やストリーム情報も復元することができます。



○イメージエクスプローラー機能

バックアップファイルをクリックするとWindowsエクスプローラーの操作でバックアップファイル内のファイルの一覧表示やコピーが可能になり、フォルダーやファイル単位で復元を行うことが可能です。

バックアップファイルをクリック

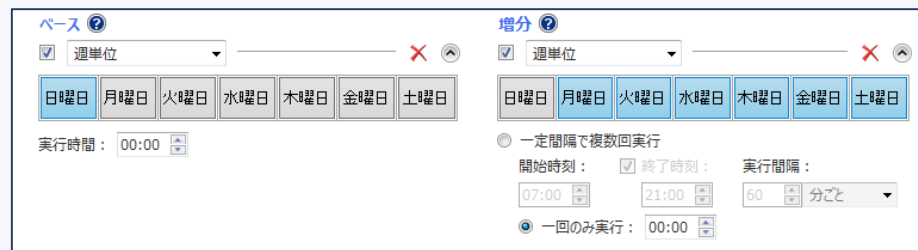


自由度の高い柔軟なバックアップ スケジュール設定

ActiveImage Protectorのバックアップのスケジュール設定は、「週単位」「月単位」「指定日時」「指定曜日」と柔軟な設定が行えます。

○週単位

週末にフルバックアップを作成し、平日に増分バックアップを作成する環境に向いています。増分バックアップは1日に複数回実行できます。



○月単位

曜日に関係なく、特定の日にちでバックアップを作成する環境に向いています。月末にフルバックアップを作成し、その他の平日は増分バックアップを作成することもできます。

○指定曜日

特定の曜日にバックアップを作成する環境に向いています。毎月第1日曜日にフルバックアップを作成し、その他の平日は増分バックアップを作成することも可能です。

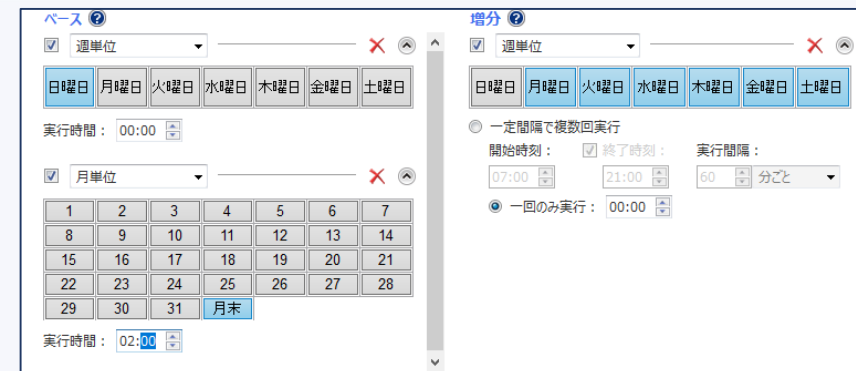
○指定日時

特定の曜日にバックアップを作成することができます。初回のみフルバックアップを作成して、以降は増分バックアップを作成することもできます。

こんなスケジュール設定も可能です

○マルチバックアップ スケジュール設定

基本は週単位でバックアップを作成して、月末にはフルバックアップを作成するようなスケジュールを組み合わせることもできます。



○マルチバックアップ タスク設定

複数のバックアップタスクの作成が可能です。例えば、CドライブはNAS Aに、DドライブはNAS Bにと、保存先を分けてバックアップを作成することもできます。

ActiveImage
PROTECTOR

保存先を分けてバックアップ



対応モデル

➤ 対応モデル

- Express5800/R320h-E4/M4
- Express5800/R320g-E4/M4
- Express5800/R320f-E4/M4
- Express5800/R320e-E4/M4



※ Express5800/R320e は、Windows Server 2012 R2搭載モデルのみの対応となります。

価格

➤ ライセンス

- 1ライセンス : 217,800円 (税別)
※初年度の年間サポートサービス含む

➤ 次年度の年間サポートサービス更新

- 1ライセンス : 39,600円 (税別)

ActiveImageTM
PROTECTOR

ftサーバのバックアップ運用に安心して導入できます。

➤ システム稼働中にシステムおよびデータを丸ごとバックアップ

- ftサーバのシステムのオンラインバックアップに正式対応している製品は「ActiveImage Protector」だけです。

➤ ftサーバ対応モデルは全て検証済み

- ftサーバ対応モデルは、NEC社と連携し十分な検証作業を実施していますので、2009年4月出荷開始からトラブル報告は殆どありません。また、専用のバックアップ運用ガイドを内製していますので、安心して導入できます。

➤ 多くの導入実績

- 2009年4月出荷開始から多くの導入実施があります。

ActiveImageTM 2022
PROTECTOR

ActiveImage Protector 2022 Express5800/ftサーバ

Windows システムのバックアップ・復元ガイド

第2版 - 2024年 1月26日

Copyright Actiphy, Inc. 無断複写・転載を禁止します。



お問い合わせ先
株式会社 アクティブアイ
E-mail: sales@actiphy.com
Tel: 03-5256-0877



www.actiphy.com